

注3

大学番号：私040

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

届出

東北工業大学大学院 ライフデザイン学研究所

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東北工業大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

法人本部事務局（企画調査課）

法人本部事務局次長 ヒノ リュウイチ
兼企画調査課長 樋野 隆一

電話番号 022-305-3323
（夜間） 022-305-3300
F A X 022-305-3362
e-mail hino1058@tohtech.ac.jp

大学事務局（学務課）

学務課長 カワムラ ヒロアキ
川村 弘昭

電話番号 022-305-3169
（夜間） 022-305-3300
F A X 022-305-3163
e-mail kawamura@tohtech.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	P1
2	授業科目の概要	P6
3	施設・設備の整備状況, 経費	P9
4	既設大学等の状況	P10
5	教員組織の状況	P13
6	留意事項に対する履行状況等	P17
7	その他全般的事項	P18
	・別紙1 FD委員会規程	P21
	・別紙2 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見	P22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東北工業大学

(2) 大学名

東北工業大学大学院

(3) 大学の位置

〒982-8588
宮城県仙台市太白区二ツ沢6番
(〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			
学長	(サワダ ヤスジ) 沢田 康次 (平成20年4月)	(ミヤギ ミツノブ) 宮城 光信 (平成25年4月)	任期満了のため 平成25年4月1日(25)
研究科長			
専攻主任	(ナシハラ ヒロシ) 梨原 宏 (平成24年4月)	(アライ トシヤ) 荒井 俊也 (平成25年4月)	定年退職のため 平成25年4月1日(25)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)
平成25年度に報告する内容 → (25)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
ライフデザイン学研究科	年	人	人	【基礎となる学部等】 ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科 安全安心生活デザイン学科
デザイン工学専攻(博士(前期)課程) 修士(デザイン工学)	2	5	10	
デザイン工学専攻(博士(後期)課程) 博士(デザイン工学)	3	2	6	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻(博士(前期)課程)

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成24年度	平成25年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5人 (-) [-]	-人 (-) [-]	5人 (-) [-]	-人 (-) [-]	0.50倍			
志願者数	4 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]				
受験者数	4 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]				
合格者数	4 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]				
B 入学者数	4 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	0.80		0.20					

ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻（博士（後期）課程）

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	2人 2 (-) [-]	-人 - (-) [-]	2人 2 (-) [-]	-人 - (-) [-]					0.00倍	
志願者数	0 (-) [-]	- (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]						
受験者数	0 (-) [-]	- (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]						
合格者数	0 (-) [-]	- (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]						
B 入学者数	0 (-) [-]	- (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]						
入学定員超過率 B/A	0.00		0.00							

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻 (博士(前期)課程)

学 年	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 4	[-] -	[-] 1	[-] -	
2年次	/		[-] 4	[-] -	
計	[-] 4		[-] 5		

ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻 (博士(後期)課程)

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 0	[-] -	[-] 0	[-] -	[]	[]	
2年次	/		[-] 0	[-] -	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	
計	[-] 0		[-] 0		[]		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻 (博士(前期)課程)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	4人	0人	平成24年度	0人	0人		0.0%
			平成25年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	1人	0人	平成25年度	0人	0人		0.0%
合計	5人	0人					0.0%

ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻 (博士(後期)課程)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	0人	0人	平成24年度	0人	0人		0.0%
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	0人	0人	平成25年度	0人	0人		0.0%
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		%
合計	0人	0人					0.0%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

(1) 授業科目表

<ライフデザイン学研究所 デザイン工学専攻 博士(前期)課程>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研修科目	デザイン工学専攻前期課程研修	1~2 1~2後	6			6 7	6 3 2					定年退職者により教授1名減員。 教育課程の充実を図るため准教授3名増員(25) H24. 4専任教員採用による追加、 表記の訂正(24)
専門科目	インダストリアルデザイン論	1後		2			1					
	地域産業デザイン論Ⅰ	1前		2		1						
	地域産業デザイン論Ⅱ	1後		2		1						
	インタラクションデザイン計画Ⅰ	1前		2		1						
	インタラクションデザイン計画Ⅱ	1後		2		1						
	環境造形計画	1前		2			1					H24. 4専任教員採用による追加(24)
	造形構成論Ⅰ	1前		2		1						
	造形構成論Ⅱ	1後		2		1						
	色彩調和論	1後		2			1					教育課程の充実を図るため科目を追加(25)
	福祉デザイン計画	1前		2								兼1 福祉デザイン計画Ⅰおよび福祉デザイン計画Ⅱと関連の深い「看護支援デザイン論」の追加により、2科目を廃止し、1科目を追加(25)
	福祉デザイン計画Ⅰ	1前		2		1						
	福祉デザイン計画Ⅱ	1後		2		1						
	エルゴデザイン計画Ⅰ	1前		2		1						
	エルゴデザイン計画Ⅱ	1後		2		1						
	看護支援デザイン論	1後		2			1					教育課程の充実を図るため科目を追加(25)
安全デザイン計画	1前		2		1							
生活環境学	1前		2		1							
生活エネルギー論	1後		2		1							
生活文化計画論	1前		2									
住居史論	1前		2			1						
集住計画	1後		2			1					兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加(25)	
共通科目Ⅰ	インターンシップ	1~2		2								
共通科目Ⅱ	大学院の英語Ⅰ	1前		2								兼1
	大学院の英語Ⅱ	1後		2								兼1

<ライフデザイン学研究所 デザイン工学専攻 博士(後期)課程>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研修科目	デザイン工学専攻後期課程研修	1~3 1~3後	6			6 7	6 3 2					定年退職者により教授1名減員。 教育課程の充実を図るため准教授3名増員(25) H24. 4専任教員採用による追加、 表記の訂正(24)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

<ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻 博士(前期)課程>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 20	科目 0	科目 21	科目 1 [0]	科目 22 [2]	科目 0 [0]	科目 23 [2]	

<ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻 博士(後期)課程>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 0	科目 0	科目 1	科目 1 [0]	科目 0 [0]	科目 0 [0]	科目 1 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	福祉デザイン計画Ⅰ	2	1	専門	選択	廃止は、今年度から新しく授業担当となる常勤教員によって、廃止科目と関連の深い「看護支援デザイン論」が開講されるためである。代替措置としては、廃止される2科目の内容から「看護支援デザイン論」と重複する部分を除いた新科目「福祉デザイン計画」を非常勤講師によって開講する。
2	福祉デザイン計画Ⅱ	2	1	専門	選択	同上
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：本専攻では今年度から授業担当教員が3名増員され、その中の一人が、昨年度退職した教員の所属していた教育研究分野に入り、廃止科目と関連の深い授業科目を新たに担当することとなった。また、廃止科目を担当していた退職教員も非常勤講師として大学に残ることが決まり、廃止2科目の内容を1科目に統合して引き続き授業担当することとなったので、科目設定のバランスから適当な措置と思われる。

学生への周知方法：新年度始めの大学院オリエンテーションにおいてガイダンスするほか、大学院案内冊子の改訂版、および大学院ホームページにて周知を図る。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

ライフデザイン学専攻 デザイン工学専攻（博士（前期）課程）

未開講科目と廃止科目の計	2	=	0.09
設置時の計画の授業科目数の計	21		

ライフデザイン学専攻 デザイン工学専攻（博士（後期）課程）

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0.00
設置時の計画の授業科目数の計	1		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場の一部を利用し、新校舎を建設したため(25) 借入面積 85.22㎡ 借入期間 20年間			
	校舎敷地	213,877㎡ 210,782㎡	0㎡	0㎡	213,877㎡ 210,782㎡				
	運動場用地	55,942㎡ 59,037㎡	0㎡	0㎡	55,942㎡ 59,037㎡				
	小 計	269,819㎡	0㎡	0㎡	269,819㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	269,819㎡	0㎡	0㎡	269,819㎡				
(2) 校 舎	専 用	62,915.36㎡ 61,584.61㎡ (62,915.36㎡) (61,584.61㎡)	0㎡	0㎡	62,915.36㎡ 61,584.61㎡ (62,915.36㎡) (61,584.61㎡)	新校舎建設のため(25)			
	共 用	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	51 48 49 室	19 21 19 室	143 142 141 室	9 室 0 (補助職員 + 人)	1 室 (補助職員 0人)	大学全体 新校舎建設により教室を増加し、また、学生の修学環境整備のため演習室等の使用用途を変更したため(25) 情報処理学習施設の補助職員が退職したため(25) 学生の修学環境整備のため教室等の使用用途を変更したため(24)		
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			教員の人事異動のため(25) 平成24年4月 専任准教授1名を新規採用のため(24)		
	ライフデザイン学専攻 博士(前期・後期)課程			12 10 室 9					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書等補充整備のため(25) 大学全体で共用分 図書242,255冊 学術雑誌1,759種 図書等補充整備のため(24) 大学全体で共用分 図書232,442冊 学術雑誌1,759種	
		ライフデザイン学専攻 デザイン工学専攻	242,465 [54,868] 237,133 [54,549] 232,862 [53,814] (242,255 [54,848]) (236,323 [54,465]) (232,547 [53,784])	1,759 [603]	[]	3,318 3,295 3,257 (3,318) (3,295) (3,257)	0		0
	計	242,465 [54,868] 237,133 [54,549] 232,862 [53,814] (242,255 [54,848]) (236,323 [54,465]) (232,547 [53,784])	1,759 [603]	[]	3,318 3,295 3,257 (3,318) (3,295) (3,257)	0	0		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
	2,976.85㎡		410席		260,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 新校舎の建設のため、サッカー場の一部を利用し、残りの敷地をフットサル場に改修したため(25)		
	3,576.71㎡		野球場2面		フットサル場2面 サッカー場1面				
			テニスコート5面		バレーコート4面				
			アーチェリー場		400mトラック1面				
		武道場・剣道場		弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	496千円	496千円	図書購入費	500千円	500千円	500千円	
	学生1人当り納付金	共同研究費等		810千円	810千円	設備購入費	1,000千円	700千円	700千円
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		博士(前期)課程	1,430千円	1,180千円	-	-	-		
		博士(後期)課程	1,430千円	1,180千円	1,180千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要			補助金収入、資産運用収入、手数料収入						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東北工業大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部 知能エレクトロニクス学科	4	120	0	480	学士 (工学)	0.91	昭和39年度	宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1	
情報通信工学科	4	120	0	480	学士 (工学)	1.04	昭和39年度	同上	
建築学科	4	120	0	480	学士 (工学)	0.94	昭和41年度	同上	
都市マネジメント学科	4	80	0	320	学士 (工学)	0.77	昭和42年度	同上	平成23年より建設システム工学科から名称変更
環境情報工学科 環境エネルギー学科	4	- 100	- 0	- 400	学士 (工学)	0.73	平成13年度 平成24年度	同上	平成24年より学生募集停止
ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科	4	80	0	320	学士 (デザイン)	0.85	平成20年度	宮城県仙台市太白区二ツ沢6番	
安全安心生活デザイン学科	4	80	0	320	学士 (ライフデザイン)	0.81	平成20年度	同上	
経営コミュニケーション学科	4	60	0	240	学士 (経営コミュニケーション)	1.08	平成20年度	同上	

大学の名称	東北工業大学大学院							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 員	取 定 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学研究科 博士(前期)課程								宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1	
電子工学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	0.50	平成5年度		
通信工学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	1.20	平成4年度	同上	
建築学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	1.20	平成4年度	同上	
土木工学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	0.30	平成4年度	同上	
デザイン工学専攻	-	-	-	-			平成12年度		平成24年より学生募集停止
環境情報工学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	1.10	平成12年度	同上	
ライフデザイン学研究科 博士(前期)課程								宮城県仙台市太白区二ツ沢6番	
デザイン工学専攻	2	5	0	10	修士(デザイン工学)	0.50	平成24年度		
工学研究科 博士(後期)課程								宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1	
電子工学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.00	平成7年度		
通信工学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.16	平成6年度	同上	
建築学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.33	平成6年度	同上	
土木工学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.33	平成7年度	同上	
デザイン工学専攻	-	-	-	-			平成14年度		平成24年より学生募集停止
環境情報工学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.16	平成14年度	同上	
ライフデザイン学研究科 博士(後期)課程								宮城県仙台市太白区二ツ沢6番	
デザイン工学専攻	3	2	0	6	博士(デザイン工学)	0.00	平成24年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）について，それぞれの学校種ごとに，平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際，AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(1) 担当教員表

<ライフデザイン学研究所 デザイン工学専攻 (博士(前期)課程)>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	荒井 俊也 (51)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 造形構成論Ⅰ 造形構成論Ⅱ						
専	教授	石川 善美 (63)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 生活環境学 生活エネルギー論						
専	教授	太田 博雄 (64)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 安全デザイン計画						
専	教授	菊地 良寛 (58)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 地域産業デザイン論Ⅰ 地域産業デザイン論Ⅱ						
専	教授	梨原 宏 (66)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 福祉デザイン計画Ⅰ 福祉デザイン計画Ⅱ						平成25年3月 定年退職 (25)
専	教授	原田 一 (58)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 エコデザイン計画Ⅰ エコデザイン計画Ⅱ						
専	教授	両角 清隆 (56)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 インタラクション デザイン計画Ⅰ インタラクション デザイン計画Ⅱ						
専	准教授	梅田 弘樹 (45)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 インダストリアル デザイン論						
専	准教授	小山 祐司 (56)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 住居史論						
兼任	講師	大沼 正寛 (40)	平成24年4月	環境造形計画	専	准教授	大沼 正寛 (40)	平成24年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 環境造形計画	平成24年4月 新規採用による職名・ 授業科目の変更 (24)
					専	准教授	伊藤 美由紀 (43)	平成25年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 看護支援デザイン論	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 増員 (25)
					専	准教授	小杉 学 (39)	平成25年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 集住計画	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 増員 (25)
					専	准教授	盧 慶美 (45)	平成25年4月	デザイン工学専攻 前期課程研修 色彩調和論	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 増員 (25)

<共通>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	脇坂 圭一 (40)	平成24年4月	生活文化計画論	兼任	講師	庄子 晃子 (68)	平成24年4月	生活文化計画論	平成24年4月 担当者の変更 (24)
兼任	講師	バレーラ ルナ ア ルトゥーロ (50)	平成24年4月	大学院の英語 I 大学院の英語 II						
					兼任	講師	梨原 宏 (67)	平成25年4月	福祉デザイン計画	平成25年3月 梨原教授定年退職のため、平成25年度 より職名・担当科目の変更 (25)

<ライフデザイン学専攻 デザイン工学専攻 (博士(後期)課程)>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	荒井 俊也 (51)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修						
専	教授	石川 善美 (63)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修						
専	教授	太田 博雄 (64)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修						
専	教授	菊地 良覚 (58)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修						
専	教授	梨原 宏 (66)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修						平成25年3月 定年退職 (25)
専	教授	原田 一 (58)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修						
専	教授	両角 清隆 (56)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修						
専	准教授	梅田 弘樹 (45)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修						
専	准教授	小山 祐司 (56)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修						
					専	准教授	大沼 正寛 (40)	平成24年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修	平成24年4月 新規採用による追加 (24)
					専	准教授	伊藤 美由紀 (43)	平成25年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 増員 (25)
					専	准教授	小杉 学 (39)	平成25年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 増員 (25)
					専	准教授	盧 慶美 (45)	平成25年4月	デザイン工学専攻 後期課程研修	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 増員 (25)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

〈ライフデザイン学研究所 デザイン工学専攻 博士(前期)課程・博士(後期)課程〉

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
6	3	9	6	6	12	65	1
(6)	(4)	(10)	[0]	[3]	[3]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 平成18年4月1日よりFD委員会を設置した。また、FD委員会の中に委員長と幹事委員10名（平成25年度は11名）からなるFD企画部会および委員長と幹事委員6名からなるFD推進部会を設置し、FD活動の推進を図っている。・ FD委員会規程は別紙1のとおり。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 平成24年度FD委員会： 8回開催（31名中、28名以上出席）・ 平成24年度FD企画部会： 12回開催（11名中、5名以上出席） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「大学評価アンケート」について・ 「大学院アンケート」について・ 「授業評価アンケート」の評価方法等について・ 授業評価システムについて・ 教員表彰（教育分野）について・ 教員表彰（研究・社会活動等分野）について・ 教育改善シンポジウムの開催について・ 授業参観の実施について・ 意見交換会の開催について・ 成績評価について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 新任教員説明会・ 教員相互の授業参観・ 授業方法についての意見交換会・ 授業研究懇話会（授業参観・意見交換会）報告書作成・ 教育改善シンポジウム・ 大学評価アンケート・ 大学院アンケート・ 授業評価アンケート・ 成績評価

b 実施方法

- ・新任教員説明会については、平成25年4月3日に全新任教員を集め、教務関係、学生関係、事務関係等について、それぞれの代表者がガイダンスを行った。
- ・教育改善シンポジウムについては、全教員を対象とし、平成25年2月18日に外部講師を招き「他大学の大学改革と将来構想について」の講演を開催した。なお、シンポジウムの実施報告書を作成し、全教員に配布予定である。
- ・授業参観については、平成24年11月5日～11月30日の期間、全科目の授業を対象として実施した。参観者は、本学の「良い授業のための指針」を基にした意見等を授業担当者に伝え、授業の改善を図った。
- ・授業方法についての意見交換会については、平成24年12月7日に開催し、授業参観の感想や「良い授業」についての意見を交換した。また、意見交換会の報告書を全教員に配布し、教育の改善を図った。
- ・大学評価アンケートについては、全学生に対し行い、授業や学生生活、施設などに対する学生の意見や要望を集約し、今後の指導や施設改善等を行う際の資料として活用している。
また、結果については、本学ポータルサイトの掲示板に公表し学生に周知した。
- ・授業評価アンケートについては、各教員が担当授業の際に実施し、授業についての学生の意見を集め、より良い授業への改善に努めている。
また、アンケートの自由記述への回答については、本学ポータルサイトの掲示板に公表し学生へのフィードバックを行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・新任教員説明会は、平成25年4月3日に実施した。新任教員の全員（13名）が参加した。
- ・授業方法についての意見交換会については、平成24年12月7日に実施し、教員24名が参加した。
- ・教育改善シンポジウムについては、平成25年2月18日に実施し、教員39名が参加した。
- ・大学評価アンケートについては、平成25年2月13日の成績発表時に全学生に対しマークカードを配布し、その場で記入させて回収する方式で実施。ほぼ全員が提出した。
- ・授業評価アンケートについては、前期・後期の授業終了までに各教員が実施。専任・兼任含め、前期489科目、後期392科目で実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業アンケートに記載された要望等について、教員個々人が担当科目毎に回答することにより、授業の改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施：有
- ・実施時期：前期・後期の各期間中（年2回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケート結果は、科目担当教員に配付している。また、アンケートの自由記述に対する回答を本学ポータルサイトの掲示板に公表し、学生に公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙2のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成25年7月公表予定(平成23年度自己点検・評価報告書)

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学等(約100箇所)に配布。
・大学ホームページ上に公開。

③ 認証評価を受ける計画

・平成25年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で準備中。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成24年6月1日)